

都道府県管理ダム 管理者別 健全度評価結果

R7.3時点

管理者	C	B2	B1	A	未評価	ダム数
北海道	2	11.1%	14	77.8%	2	11.1%
青森	5	62.5%	3	37.5%	0	0.0%
岩手	5	50.0%	5	50.0%	0	0.0%
宮城	3	21.4%	9	64.3%	1	7.1%
秋田	1	7.1%	10	71.4%	3	21.4%
山形	2	15.4%	8	61.5%	3	23.1%
福島	7	70.0%	2	20.0%	1	10.0%
茨城	1	14.3%	4	57.1%	2	28.6%
栃木	5	71.4%	2	28.6%	0	0.0%
群馬	3	42.9%	4	57.1%	0	0.0%
埼玉	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
千葉	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
東京	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
神奈川	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
山梨	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%
長野	5	29.4%	12	70.6%	0	0.0%
新潟	1	5.0%	15	75.0%	4	20.0%
富山	10	62.5%	4	25.0%	2	12.5%
石川	6	60.0%	3	30.0%	1	10.0%
岐阜	5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
静岡	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%
愛知	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
三重	2	66.7%	0	0.0%	1	33.3%
福井	0	0.0%	3	37.5%	5	62.5%
滋賀	0	0.0%	5	83.3%	1	16.7%
京都	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%
大阪	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%
兵庫	16	76.2%	4	19.0%	1	4.8%
奈良	3	60.0%	2	40.0%	0	0.0%
和歌山	1	20.0%	4	80.0%	0	0.0%
鳥取	3	60.0%	1	20.0%	1	20.0%
島根	5	41.7%	4	33.3%	3	25.0%
岡山	0	0.0%	11	91.7%	1	8.3%
広島	8	66.7%	4	33.3%	0	0.0%
山口	5	25.0%	13	65.0%	2	10.0%
徳島	1	33.3%	1	33.3%	1	33.3%
香川	0	0.0%	10	66.7%	5	33.3%
愛媛	0	0.0%	5	83.3%	1	16.7%
高知	0	0.0%	4	66.7%	2	33.3%
福岡	6	37.5%	9	56.3%	1	6.3%
佐賀	12	92.3%	1	7.7%	0	0.0%
長崎	8	22.9%	27	77.1%	0	0.0%
熊本	0	0.0%	6	100.0%	0	0.0%
大分	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%
宮崎	2	15.4%	11	84.6%	0	0.0%
鹿児島	1	33.3%	2	66.7%	0	0.0%
沖縄	0	0.0%	2	33.3%	2	33.3%
合計	151	34.2%	240	54.4%	47	10.7%
					3	0.7%
					6	447

※「土木構造物の状態」「機械設備の状態」「電気通信設備の状態」を対象に健全度評価を算出

(ただし、上記のうち「管理用通路」「昇降設備」「係船設備」「流木止設備」「水質保全設備」は対象に含めない)

※健全度評価区分について

表示区分		状 態
C	異状なし (安全性・機能支障なし)	<ul style="list-style-type: none"> ダムの安全性や機能に影響を及ぼすおそれがないと判断され、状態監視を継続する。
B2	要監視段階 (安全性・機能支障なし)	<ul style="list-style-type: none"> ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、必要に応じて措置を講じる必要がある。
B1	予防保全段階 (安全性・機能支障なし)	<ul style="list-style-type: none"> ダムの安全性及び機能は保持されていると判断されるものの、速やかに措置を講じる必要がある。
A	措置段階 (安全性・機能支障あり)	<ul style="list-style-type: none"> ダムの安全性及び機能への影響が認められ、直ちに措置を講じる必要がある。

・土木施設、機械施設、電気通信施設を対象としており、施設の状態に応じて4段階に区分し、**1項目でもa判定となった場合は、総合判定をAとしている。**
 (「a、b1、b2、c」の順で該当する個別判定をもとに総合判定を行っている。)